

## 文化・芸術

### 《名画の扉》

大川美術館「桐生のアーティスト  
2021 Kiryu POP」から

展示室の壁いっぱいがあります。増殖をつに広げられた黄色の画づける森は、穏やかな面のなかをみると、森背景のようできて、実があり、村があり、人に動きまわり、画面かが住んでいるようでもらも飛び出し、またPす。作者がつくりだしたCの画面のなかでも動たキャラクター、リンきまわっています。

ゴに似た「光の色の子ども」という「キイロトリー」は、まだ誰も「イさん」が、あちらこちらから顔をだしていません。自然も文明も、実はゴチャゴチャに入りみだれていきます。しかし、そこには作者のオリジナルの「emotional」ワールドが、デジタルのストーリーとです。

(田中)

n e m o g r a p h i c s  
(根本剛)  
(1975年)

「Hello, Yellow! (部分)」

2021年、デジタル出力、木材、  
ペイント  
(撮影：木暮伸也)

